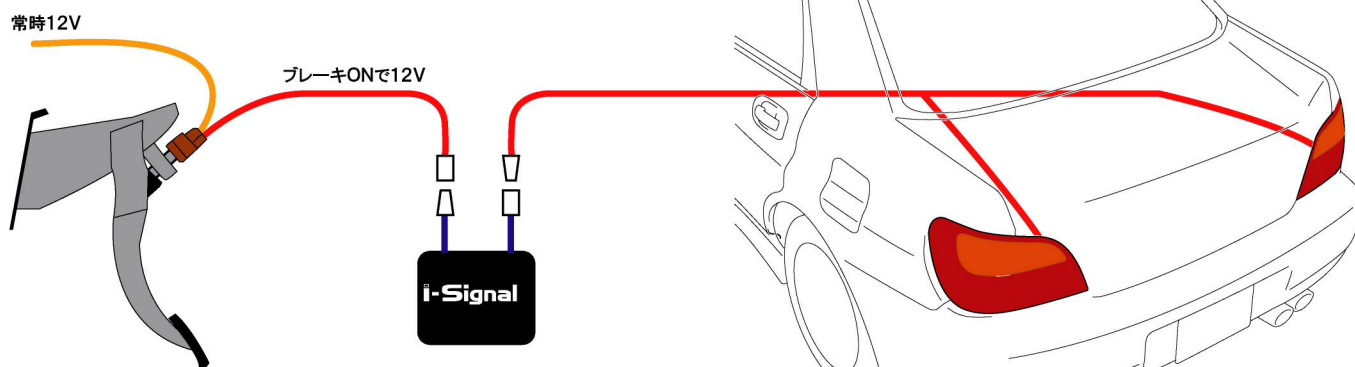
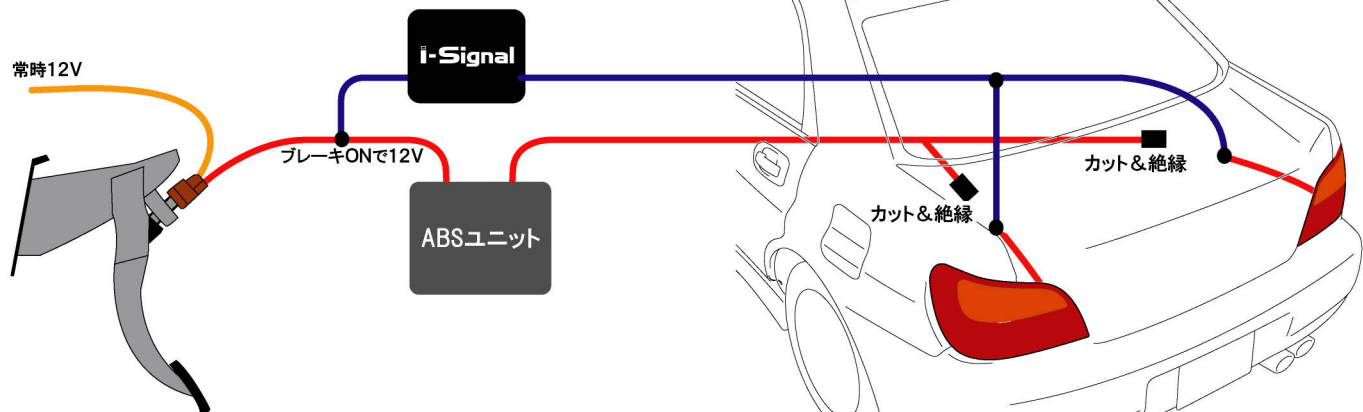
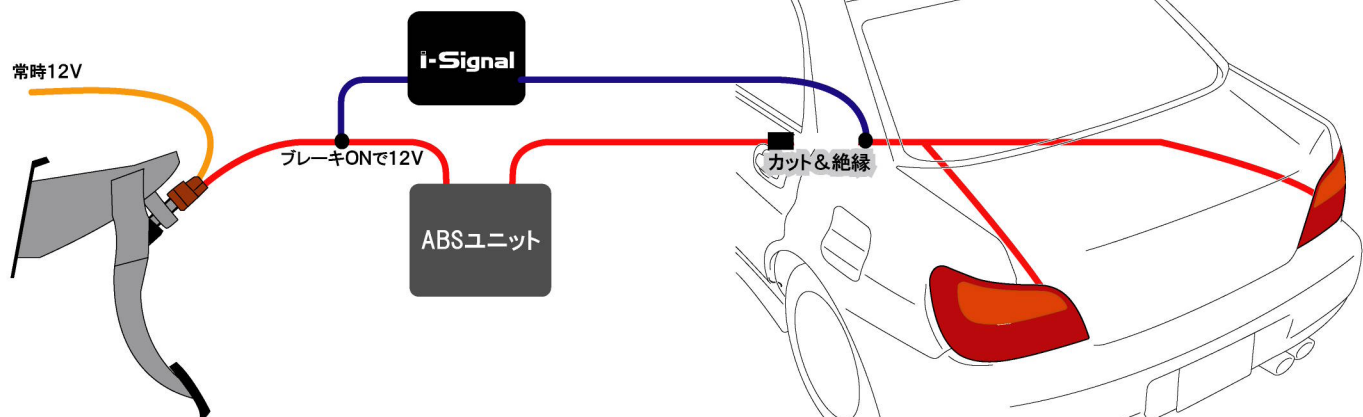
i-Signal 配線方法（詳細説明書）

ブレーキハーネスへの配線方法は全部で４種類あります。
誤った取付方をするとABSが正常に動作しない可能性もありますので、必ず取扱説明書を理解の上適切な取付を行って下さい。

ユニット割り込みタイプ、もしくは分からない場合

（レーキランプ手前分岐タイプ）

ブレーキペダル根本のブレーキＯＮ１２Ｖにi-SingalのIN側を接続し、AUTO側はリヤのバルブ手前で配線を行います。
配線の手間はありますが取付場所を探す必要がありません。

（テール分岐前接続タイプ）

主にリヤへ繋がる配線から接続する方法です。室内のサイドシルの配線やリヤ周りから配線を取れます。
全てのバルブに接続する必要がありませんが、ブレーキ配線を事前に探す必要があります。
一部車種については次ページにて配線位置をご覧頂けます。

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を取外してから作業を開始して下さい。

ブレーキランプのヒューズが左右の合計で20Ａ以下であることを確認してください。
ブレーキランプの増設を行っている場合も、総電流量が20Ａ以下であることを確認して下さい。

配線作業前に使用するハーネスの長さを確認して適切な長さに調整して使用して下さい。
また、車種により足りない場合は別途、必ず純正同等以上の太さのハーネスを使用して延長して下さい。

下記ハーネス接続方法は一例です。
実際の配線時は必ずテスターにてブレーキ信号線を確認してから取付を行って下さい。

ホンダ　インサイト

トランクルーム運転席側の車載ジャッキ上側
ブレーキハーネスがあります。

配線色　緑

トヨタ　ヴィッツ（NCP91等）

助手席サイドシル横のハーネスの束の中に
ブレーキハーネスがあります。

配線色　紫

トヨタ　ヴェルファイア

助手席サイドシルグローブボックスを外して頂くと
ハーネスユニットがあります。左図の丸部分が
ブレーキ信号線になります。

配線色　赤